広報 まつだ
平成21年 2009
4
No.526

ありがとう100年！

松田町は4月1日に町制施行100年を迎えました

小さくても きらり輝くまちへ

松田町長　島村　俊介

私たちの松田町は平成二十一年四月一日に町制施行百年を迎えました。今から百二十年前の明治二十二年（一八八九）東海道線が開通し、松田停車場（駅）が開業、駅を中心に街並が形成されはじめ、明治四十二年（一九〇九）足柄上郡二十六ヵ村のトップを切って町制を施行しました。そして昭和三十年（一九五五）に寄村と合併し、現在に至っています。

この百年は日本にとって関東大地震、満州事変、日中戦争、太平洋戦争そして終戦、高度経済成長、バブル崩壊、現在の世界同時不況など、まさに激動の百年でした。町もそれらの影響を受け、揺れ動かされてきましたが、緑豊かな山や清流に守られ、先人達の英知と努力で町としての誇りを持ち続け、今日に至っています。

松田町は可住地の少ない町ですが、小田急線、JR御殿場線、東名高速道路、国道二四六号などが走り、交通利便な町です。しかし、このような地形から大きな産業もなく、企業誘致もままなりません。町は、町の実力、財政力に相応した、器にあった行政運営をしています。『安全、安心なまちづくり』『生活基盤の充実』を主な政策として地道に事業を積み上げてきました。その結果、松田町の町民の皆さんに対するサービスは、数字の上では他市町村と比べ遜色がありません。ハードの面でも小田急南口広場整備、さらに県の力を借りての新松田駅入口交差点から新松田駅へ向かう道路の歩道設置計画など順調に進んでいます。町民の皆様のご理解、ご協力の賜ものと感謝申し上げます。

今日、次の百年に向かって一歩を踏み出します。今後も地道に事業を取り組む中で、個性が輝き出すような『小さくてもきらり輝き自立できる町』、『住んでいて良かったと思える町』を目指していきたいと思います。町民の皆様と町制百年を共に喜び、さらに町を進化させるため、ご指導、ご鞭撻をお願いし、町制百年のお祝いの挨拶といたします。

明治

明治42年　町制施行　生活基盤重視のまちづくり始まる

大正２年　相模の四大橋
十文字橋完成
松田に電灯が灯る

大正

大正７年　松田町は
養蚕業の中心

大正9年
第１回
国勢調査

大正12年　関東大地震で壊滅的被害

昭和

昭和２年　小田急全線開通　新松田駅が開業

昭和17年　松田町に最初の空襲警報発令される

昭和20年　終戦・戦争の恐怖から解放される

昭和36・37年　松田町消防団員
４名殉職　町葬行われる

昭和45年　新十文字橋開通
十文字橋は県道から町道へ

昭和52年　第１回寄若葉まつり行われる

昭和56年　松田町民文化センター完成
松田小学校プールも出来る

昭和30年　松田町と
寄村が合併

昭和44年
東名高速
道路開通

昭和50・51年
第一・二幼稚園
が開園

昭和61年
寄中学校新校舎完成
みやま運動場も出来る

平成

平成５年　「子どもの館」オープン

平成９年
健康福祉センター完成
ハーブガーデンオープン

平成11年
まつだ桜まつり始まる
期間中3000人の人出

平成19年
台風９号直撃
十文字橋落ちる

平成20年
第10回まつだ桜まつり　33万人の人出を記録

平成21年　町制100年　次の100年へスタート

NHK公開収録
「三枝一座がやってきた！」

４月17日　午後9：00～9：44
ＮＨＫ　BS2（衛星第２テレビ）で放送

３月13日に行われた公開収録では、大勢の方のご来場ありがとうございました。公開収録は皆さんの温かい応援で、つつがなく終了しました。このたび、４月17日にその収録内容が編集され、全国放送されます。地元の方々の出演もありますので、ぜひ皆さんもご覧ください。

【問合せ】企画財政課企画係　☎(83)1222